

# 令和4年度 地方創生関連事業一覧

町では、しごとづくりや移住・定住を促進させるため、町内の金融機関や商工会等と連携しながら、各種補助事業を実施しています。ご相談は随時受け付けておりますので、お気軽にお問い合わせください。事業内容の詳細は、町ホームページに掲載しています。

## 事業所の改修を応援します

改修に要する工事費等の経費を補助します（町内事業者による工事等に限りです）。

- ▶対象 町内に住所を有する個人、企業（改修費用が10万円以上であること）で、町が指定する業を営む者（対象となる業種は電話でご確認ください）。
- ▶補助率 2分の1
- ▶交付限度額 1件につき50万円
- ▶申込期限 申請額が予算250万円に達するまで

## 新商品の開発や既存商品改良、商品の宣伝、販路開拓等を新たに行う方を応援します

新商品の開発、既存商品の改良、宣伝、販路開拓等のための経費を一部補助します。

- ▶対象 町内に住所を有する個人、団体、企業
- ▶補助率 10分の10
- ▶交付限度額 1件につき20万円
- ▶申込期限 申請額が予算100万円に達するまで

申・問 町商工振興課 (☎852・5222)

## 空き家を利活用した移住定住を推進するためのイベント事業を支援します

空き家を利活用した公開リフォームイベント等を実施する方に対して、経費の一部を補助します。

- ▶対象 ・町外から移住された方または移住予定の方
- ・転入後3年を経過していない方
- ▶補助率 10分の10
- ▶交付限度額 1件につき25万円

申・問 町住民生活課 (☎852・5112)

## 農林振興を高めるまちづくりを推進するため正社員を新規雇用した事業所を応援します

60歳未満の方を正社員として新規に1年以上雇用する事業所に対して補助します。

- ▶対象 社会保険・雇用保険に加入している農林業に関わる町内事業所
- ※過去に本事業による交付を受けた事業所は不可となります。
- ▶交付限度額 1事業所につき50万円

申・問 町農林振興課 (☎852・5215)

## 起業する方を応援します

起業のための経費の一部を補助します。

- ▶対象 本年度中に起業する方
- ▶補助率 2分の1
- ▶交付限度額 1件につき50万円

## 五城目町への移住および県内企業に就業される方を支援します

町内への移住・定住の促進と中小企業等における人手不足の解消を目指して移住支援金を交付します。

- ▶対象 東京都23区（在住者または通勤・通学者）から五城目町に移住し、秋田県が運営する秋田移住支援金マッチングサイト<sup>(注)</sup>に登録されている移住支援金対象法人に正規就職した方または一定要件を満たした方
- ▶交付限度額 家族で移住の場合は100万円  
単身で移住の場合は60万円

## 起業する場所を探すため、五城目町に視察に来る方を応援します

五城目町を視察するときの交通費や宿泊費などの一部を補助します。

- ▶対象 起業しようとしている県外の方（町内に宿泊することを要します）。
- ▶補助率 2分の1
- ▶交付限度額 1件につき5万円

## 起業者の持続的な経営、事業所移転等、既存事業の拡充を支援します

広報費、設備費、事業所移転経費などの一部を補助します。

- ▶対象 町の起業支援制度を活用して起業、または起業相談のうえ起業された方
- ▶補助率 2分の1
- ▶交付限度額 1件につき50万円

申・問 町まちづくり課 (☎852・5361)

注) 秋田移住支援金マッチングサイト：<https://kocchake.com/furusatokyujin>



起業や事業の拡充に  
町の支援を活用

内川浅見内

湯の越温泉

「湯の越の宿」が  
日帰り入浴施設として復活  
令和2年度に町の補助金を活用し、5人の方々が起業や事業の拡充を行いました。  
今月号ではそのうち、令和2年3月をもって休業した内川浅見内の温泉宿泊施設「湯の越の宿」を復活させようと、地域住民とともに活動を進め、本年3月に日帰り入浴施設として「湯の越温泉」をオープンさせた「合同会社ゆあみ」の木下妥子さん（19歳・秋田市出身）に事業への思いなどを伺いました。

本年3月26日にオープンした日帰り入浴施設「湯の越温泉」。乳白色の硫黄泉が温泉の特徴です。

## 人の繋がりが結い上げられる 地元で愛される温泉に

日本の地域に受け継がれてきた「結い」の繋がりは、これからの秋田や地域のあり方を考えるうえで重要な鍵になります。地域の人のとって気楽に立ち寄れる「湯の越の宿」がお休みしたことは、温泉が一つ減ったという事象にとどまらず、日常の中で地域のつながりを自然と生み出す場がなくなったとも言えます。それは人口減少の進む秋田の現実を小さく体現しており、この場所を舞台に「結い」を編み直すことに挑戦してみたいと考えました。

これらの想いを込めて、湯の越温泉再起動計画の発足に伴い「合同会社ゆあみ」を設立しました。「結いを編み直す」ことに加え、温泉ならではの「湯浴み」、そして秋田や世界の課題の前にはまず自分たちとわたしの小さな関係性「You&Me」から始まるという意味を重ねています。地域の大切な場所を、地域に住む人たちが自身で復活させより良い場にしていくことを目指し、



インタビュー  
やすこ

木下妥子さん  
合同会社ゆあみ  
事業リーダー

地域に300年以上続く温泉を復活させようと、秋田高校在学時の令和2年8月に、町民らとともに「合同会社ゆあみ」を設立。以後、「湯の越温泉再起動計画」のもとに事業を進め、本年3月に日帰り入浴施設「湯の越温泉」をオープン。現在はアメリカのミネルバ大学に在学中。



### 「湯の越温泉」のご案内

- ① 五城目町内川浅見内字後田125-5
- ② 午前9時～午後7時  
午後6時30分最終受付
- ③ 火曜日
- ④ 大人500円、子ども300円

また、デジタルネイティブ世代といわれる学生ならではの視点から、インターネットを活用して湯の越温泉を知ってもらう試みを提案し、昔の「湯の越の宿」を知る出資者や地域の方々とは話し合いを重ね、皆が納得できる時代に合った温泉の在り方を考えていきます。